

1区終盤で抜け出し、区間賞を奪った白鷗女の古田島(右)



残り1キロで抜け出す

1区区間賞の白鷗女・古田島

○各校のエース級が纏う1区は、白鷗女(神奈川)の2年生、古田島が制し、初の起用に応えた。7、8人の先頭集団につけると、残り1キロで「せっかくのチャンス。失敗しても前に出よう」と積極的に仕掛け、一気に抜け出した。昨年11月の県駅伝で3区を任せられたが、全国大会ではメンバーを外れた。悔しさを糧に今季は3000以上の自己記録を10秒更新する9分20秒を出し、駅伝シーズンを迎えた。1区区間賞を取り「強豪と競り合った経験は大きい」と手応えをつかんだ様子だった。

(三野陽一)

くらしよし女子駅伝

白鷗女2位、西脇工3位

南部忠平杯第37回くらしよしで行われ、高目の優勝を果たした。くらしよし女子駅伝競走大会。校総合は立命館宇治。立命館宇治は3区で会は9日、倉吉市富隆(京都)が1時間8分。首位に立ち、後続を上競技場発着の21・057秒で8大会ぶり8度引き離し、2位と1分

21秒の差をつけた。白鷗女は立命館宇治と同じく2区間で区間賞の走りを見せて2位。西脇工は全員の粘走で3位をつかんだ。鳥取県内高校の部は

高校総合

鳥取城北Aが2大会連続2度目の優勝。前大会よりもタイムを1分位は八頭だった。【評】立命館宇治が総合力の高さを見せつけた。1区で4位から、後続を30秒突き放す区間賞の走りでも前に出ない。アンカー山本も区間賞で締めた。白鷗女は1区古田島

が首位スタートで流れをつくった。一時は6位に後退したが、4区ジェンタが区間1位の力走で盛り返した。3位の西脇工は2区の飯塚が9位から6つ順位を上げ、以降は安定した走りで見事な走りを見せた。比叡山は4区まで5位を維持し、5区肥